

「公共事業コスト構造改善プログラム」

【施策名：Ⅱ. 計画・設計・施工の最適化 【2】 施工段階の見直し 施策11】

鉄鋼スラグのケーソン中詰材への流用によるコスト改善

工事名：白老港岸壁（-11m）建設工事

概要：【従来】購入土砂 → 【新】鉄鋼スラグ＋浚渫土砂

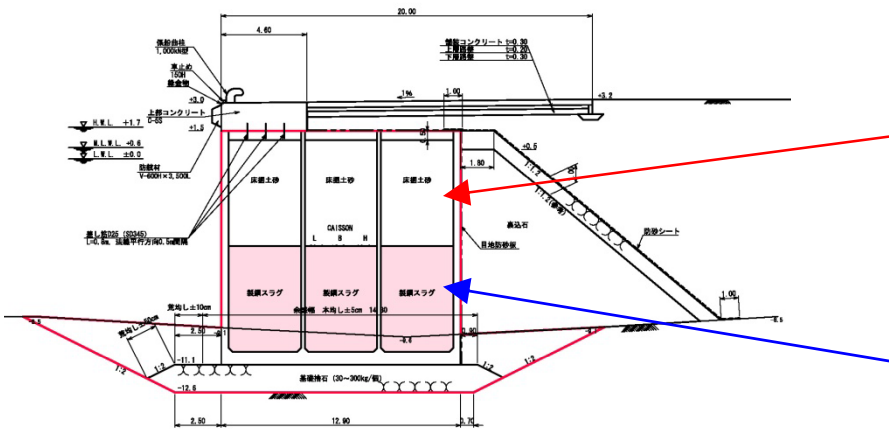
効果：

○ケーソン中詰材として、近隣の製鉄所において発生する鉄鋼スラグと浚渫残土を混合して利用することにより、建設副産物の有効利用を図ると同時に工事コストを改善。


○浚渫残土と鉄鋼スラグを混合利用する事により、土砂のみの場合より単位体積重量を大きくする事が可能となり、ケーソンの安定性が向上。

（【従来】18KN（土砂のみ） → 【新】20KN（混合）


■工事費を99百万円から58百万円に改善（改善額41百万円、改善率約41%）



【鉄鋼スラグ＋浚渫土砂】



+



鉄鋼スラグ投入状況